



クリーンアップ。 ひぬま

Vol.39
2019.3

ネットワークだより

<http://www.hinuma-network.jp>

第18回 ひぬま環境フォーラムを開催しました

平成30年11月23日(金)、いこいの村酒沼において、「第18回ひぬま環境フォーラム」を開催しました。

【第1部】では、平成30年度酒沼水質浄化ポスター、第12回ひぬまフォトコンテスト、平成30年度水質浄化活動功労者の表彰式を行いました。

水質浄化ポスターは応募総数346点の中から描写力、表現力に優れ、意欲に溢れた作品を選定し、24名(最優秀賞3名、優秀賞6名、優良賞15名)に表彰状が授与されました。ひぬまフォトコンテストは応募総数119点の中から、11名(最優秀賞1名、ニコン賞1名、いこいの村酒沼賞1名、優秀賞2名、優良賞5名、奨励賞1名)に表彰状が授与されました。また、長きにわたり水質浄化活動に熱心に取り組まれ、多くの功績のあった1個人2団体に対し、水質浄化活動功労者の表彰状が授与されました。

受賞者の皆様おめでとうございます。

今後ますますご活躍されますことを期待しております。



会長あいさつ



表彰式

平成30年度 酒沼水質浄化ポスター ～最優秀賞～

☆ 各部門の入賞作品は、クリーンアップひぬまネットワークホームページからご覧いただけます。



銚田市立旭南小学校
二年 飛田 和迦さん



茨城町立長岡小学校
四年 郡山 ふうかさん



茨城町立明光中学校
二年 友部 歩美さん

第12回 ひぬまフォトコンテスト



最優秀賞「寒しじみ漁」
竹内 治様



ニコン賞「一人っ子」
深作 正一様



いこいの村酒沼賞「夜明け」
長谷川 博様

ひめま環境フォーラム講演会



水質浄化啓発講演会①
茨城県立茨城東高等学校の生徒の皆様



水質浄化啓発講演会②
東京大学大気海洋研究所 助教 猿渡 敏郎 様
協力: アクアワールド茨城県大洗水族館

第18回ひめま環境フォーラムの【第2部】水質浄化啓発講演会では、茨城県立茨城東高等学校の生徒の皆様から「茨城町を元気に!!!」～茨城東高校のECO活動～と題して、涸沼に関する学習や活動内容を発表していただきました。地域のイベント等へ出展し、かわいくて使いやすいというコンセプトの元、参加者と一緒にアクリルたわしづくりを行ったり、各種報告会等で実施活動について報告したり、さらには10月14日(日)に開催された第17回世界湖沼会議の学生会議でも口頭発表を行ったことなど、紹介をいただきました。

次に、東京大学大気海洋研究所の助教 猿渡 敏郎 様から「汽水湖涸沼(ひめま)に棲む魚たち」～体験! 魚にタッチしてみよう!!～と題してご講演いただきました。私たちの生活と魚がどのように関係しているかや涸沼で見ることのできる魚(アユやワカサギ等)の特徴や形態などを詳しく説明いただきました。講演の中には、子供たちも楽しめるように魚に関するクイズコーナーを入れていただき、大人も子供も楽しめる講演となりました。

また、アクアワールド茨城県大洗水族館の方々にもご協力をいただき、魚たちが入った水槽やプールを用意し実際の魚等を見たり触れたりできるようにしました。子供たちが、楽しそうに魚たちに触っていたのが印象的でした。

平成30年度水質浄化活動功労者の紹介

友野 イツ子 様 (茨城町)

平成25年度9月から自主的に、茨城町長岡の国道沿いのゴミ拾いを始め、以来、ほぼ毎日個人でゴミ拾いを行っている。

現在では、涸沼流入河川沿いに活動範囲を広げゴミ拾いを行っており、涸沼の水質に貢献している。

ごみを考える会 (笠間市)

こどもエコ教室や廃棄食用油を使った石けんづくり、企業と共同で行う市内清掃などの環境美化活動など、幅広い年齢層を対象とした水質浄化活動を実施している。

こどもエコ教室や廃油からの石けんづくりについては、笠間市内外の小学校へ出向き学習活動を行っており、子供たちの環境意識向上の一端を担っている。

イオンタウン株式会社イオンタウン水戸南 (茨城町)

涸沼流域クリーン作戦の清掃活動において、平成25年度から計5回に渡り、述べ約60名の方に御協力いただいている。

また、クリーン作戦時に飲料水の提供やフォトコンテストなどの周知に毎年協力をいただくなど、当ネットワークの環境保全活動への貢献をいただいている。



功労者の皆様 (敬称略)
(左から茨城県県民生活環境部長 齋藤 章、
ごみを考える会、友野 イツ子、谷萩八重子)

第17回世界湖沼会議(いばらき霞ヶ浦2018)

平成30年10月に本県で23年ぶり2回目となる「第17回世界湖沼会議(いばらき霞ヶ浦2018)」が開催され、会議では、水質保全のみならず、生態系サービスを将来にわたって持続的に享受するため、どのようなことに取り組むべきかについて、活発な議論が行われました。

議論の成果は、最終日に「いばらき霞ヶ浦宣言2018」としてとりまとめられ、世界に向けて発信されました。宣言には、その柱として「生態系サービスを衡平に享受すること」と「生態系サービスを次世代に引き継ぐこと」の2つを掲げ、これらを達成するために関係者が行うべきことが盛り込まれています。

また、10月17日(水)には、エクスカージョンという現地視察が、「霞ヶ浦コース」及び「北浦・涸沼・千波湖コース」の2コースに分かれて実施され、涸沼では、「いこいの村涸沼」及び「涸沼自然公園」に参加者125名(外国人110名、日本人15名)が視察に訪れました。

いこいの村涸沼内では、まずウェルカムセレモニーとして、茨城町の伝統芸能である『あんばまつり』を「広浦あんばまつり保存会」の方々からの披露があり、その後涸沼流域で活動されている団体からの取組発表や大涸沼漁協からのシジミ漁に関する発表がありました。



あんばまつりの様子

当ネットワークでは、涸沼流域での活動をまとめたパネルを作成し、当日は、谷萩会長、廣瀬顧問、水野副会長、大辻副会長が、展示パネルの説明をしつつ、参加者との交流を深めました。

また、もう一つの涸沼の視察先である「涸沼自然公園」では、涸沼を眺めながら茨城町の小林町長が自ら、会場となった涸沼自然公園や、ヒヌマイトトンボ・オオワシなどに代表される涸沼が持つ豊かな自然環境についてご紹介、ご説明されました。

今回の涸沼でのエクスカージョンは、8割以上の参加者が海外の方であったことから、涸沼の魅力及び当ネットワークの活動を全世界へ発信することのできた良い機会となりました。



湖沼セッションでの谷萩会長の発表



銚田市立旭北小学校発表の様子



いばらき霞ヶ浦宣言2018の朗読



パネル前での説明



涸沼自然公園での様子

第13回 ひぬまフォトコンテスト作品募集のお知らせ

クリーンアップひぬまネットワークでは、自然に親しみ、水質浄化や自然保護に対する意識を高めることを目的に、涸沼流域の自然や日常の風景などを題材とした写真作品を募集しております。

涸沼流域の自然や人々の暮らし等、あなたが未来に残したい涸沼の風景を、写真を通して表現してみませんか。たくさんのご応募をお待ちしております。

※応募の詳細及び応募用紙については、ホームページ (<http://www.hinuma-network.jp>) をご覧ください。

応募規定

- 作品のテーマは、涸沼流域の ①自然・風景、②人々の暮らし、③生息する動植物 です。
- 作品は、カラー4切、ワイド4切、A4サイズとします。(※インクジェットによるプリント可) (なお、高校生以下は、2Lサイズからの応募が可能です。)
- 応募は、1人10点以内とします。(各作品の裏面に応募用紙を貼付願います。)
- 最優秀賞1点、優秀賞2点以内、優良賞5点以内、奨励賞2点以内、ニコン賞1点、いこいの村涸沼賞1点を選定し、表彰する予定です。(表彰式は、2019年11月に行う予定です。)

応募締切
2019年
9月30日(月)
※当日消印有効

賛助金のご協力ありがとうございました

ネットワーク活動の充実を図るため、事業所及び団体会員の皆様に賛助金(1口:1万円)のご協力をお願いしましたところ、36事業所・団体から合計40万円のご協力をいただきました。誠にありがとうございます。

今回ご協力いただきました賛助金は、啓発物品(不織布エコバック、鉛筆、水切りネット)の作成に充てさせていただきます。

厚く御礼申し上げます。

今後も涸沼の水質浄化活動を実践してまいりますので、引き続きご理解、ご協力をお願い申し上げます。

- 日東電気株式会社
- あさ川製菓株式会社
- 株式会社ニコン 水戸製作所
- 株式会社山新
- 株式会社常陽銀行 公務部
- セキスイハイム工業株式会社関東事業所
- 稲田石材商工業協同組合
- イオンリテール株式会社イオン笠間店
- 日本たばこ産業株式会社友部工場
- 株式会社タカタ
- 板橋精機株式会社岩間工場
- 八幡碎石工業株式会社

- 株式会社さしろ
- 一般財団法人茨城県環境保全事業団
- 株式会社茨城県中央食肉公社
- 公益社団法人茨城県農林振興公社
- 公益財団法人茨城県開発公社 いこいの村涸沼
- 水戸ヤクルト販売株式会社
- 水戸商工会議所
- 水戸常澄商工会
- 笠間市商工会
- 茨城町商工会
- 水戸市内原商工会
- 大洗町商工会
- 鉾田市商工会 旭支所

- 大涸沼漁業協同組合
 - 水戸農業協同組合
 - 公益社団法人茨城県畜産協会
 - 茨城旭村農業協同組合
 - 一般社団法人水戸観光コンベンション協会
 - 一般社団法人笠間観光協会
 - 茨城県生活協同組合連合会
 - 常陸農業協同組合
 - 笠間営農経済センター
 - 茨城県建設業協会
 - 一般社団法人大洗観光協会
 - 公益社団法人茨城県水質保全協会
- (※敬称略, 順不同)

読者プレゼントクイズ

6	<input type="checkbox"/>	1	2		7		4	3
5	8		1	6		7		
	2		3	5	9	<input type="checkbox"/>	1	6
2		6		3	1		7	
	7		6		5	2		8
3	5	<input type="checkbox"/>	7				6	
9	1	5	4		6		8	
4			9	7		6		1
	6	7		1		4	<input type="checkbox"/>	2

「ナンバーナイン」に挑戦

タテの各9列・ヨコの各9行・3マス×3マスの各9ブロックに1から9の数字が重複しないように入ります。4つの に入る数字の合計はいくつになるでしょうか。

正解者の中から抽選で10名の方に、図書カード(1,000円分)を、5名の方に、「オリジナルエコバック」を、プレゼントします。たくさんのご応募をお待ちしております。

【応募方法】

郵便はがきに、「クイズの答え・住所・氏名・電話番号・メッセージ」をご記入のうえ、下記のネットワーク事務局までお送りください。

当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。

※平成31年4月30日(火)の消印有効です。

★前回の解答…ネットワークだよりVol.38ナンバーナインの答えは「22」でした。たくさんのご応募ありがとうございました。

オリジナルエコバック



読者の声

～みなさまから寄せられたメッセージをご紹介します～

★昔は涸沼には沢山のハゼ、しじみがいたそうですが、時代の変化とともにだいたい変わってしまいました。自然をとりもどすようにひとりひとりが汚さない意識を持ちたいです。

★私の住んでいる所は石川川があります。川を汚さない為に、油物の料理の時ふきとってから洗いなるべく油など流さないように心がけています。Tシャツの古くなった物をきざんでお勝手においてあります。

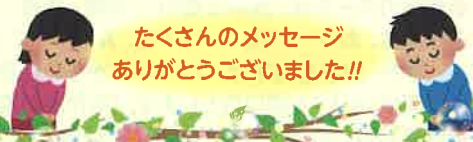
★茨城県の湖沼、河川をきれいに保ち観光客が気持ちよく楽しんでくれることを願っています。ひとりひと

りがその時々気を付けてくれたらいつもいい環境になることでしょう。

★私たちひとりひとりが環境問題に関心をもち美しいひめまを守って行きたいと思いました。

★涸沼の環境を守っていくには「美しい涸沼を守りたい」という気持ちで、いろんな事にとり組まなければならないと思いました。

たくさんのメッセージ
ありがとうございました!!



発行:クリーンアップひめまネットワーク事務局

〒310-8555 水戸市笠原町978-6 (茨城県県民生活環境部環境対策課内) TEL 029-301-2968

